

【専門分野】

科目名	在宅療養を支える看護Ⅲ (健康障害時の看護)	講師名	非常勤講師	学 年	3	履 修 期	第1学期
単 位	1 単位						
時間数	1 5時間						
授業概要	在宅で療養する医療が必要な対象と家族に対し、自己決定を支えQOL向上を目指した援助方法を学ぶ。						
授業科目目標	1. 在宅療養者と家族がその人らしく生活できるためのニーズを理解できる。 2. 在宅療養者と家族のQOL向上のための在宅看護を理解できる。						
授業計画	1～4回：医療ニーズの高い在宅療養者の看護 1) 医療ニーズの高い療養者とは 2) 自己決定への支援 3) QOLを尊重した関わり 4) 家族への看護 5) 事例検討 5～7回：終末期の在宅療養者の看護 1) 在宅終末期ケアの視点 2) 症状コントロールの実際（麻薬の管理） 3) QOLを目指した看護 4) 家族への看護 5) 在宅での看取り 6) 遺族への看護 8回：終了試験					講義 グループワーク 講義 グループワーク	
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践, 医学書院.						
参考書	1. 角田直枝：よくわかる在宅看護 改訂第2版, 学研. 2. 系統看護学講座 基礎看護学 [4] 臨床看護総論, 医学書院.						
学生へのメッセージ	ターミナル期を在宅で療養し、自宅で最期を迎える人も多くなっています。症状コントロールや自己決定のプロセスを支えるなどの倫理的判断、遺族へのケアなどについて押さえましょう。 【関連科目】 人間関係論、在宅療養を支える看護Ⅰ・Ⅱ、看護学概論、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅳ、老年看護学概論						